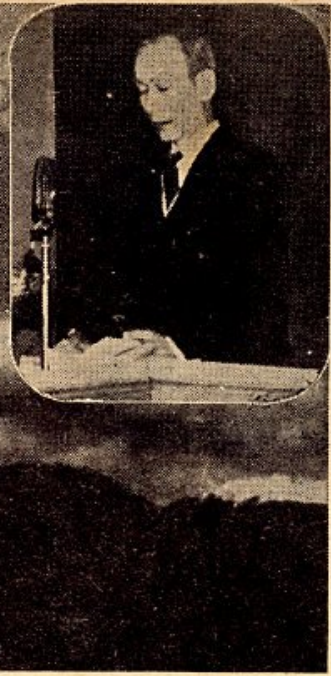




発行所 鳥取市役所 鳥取市西町 代表電話4111番

Table with population statistics for Tottori City: 世帯 24,228, 人口 107,329 (Male 51,584, Female 55,745)



記念すべき市制七十周年 生産・観光等に重点

鳥取市長 入江 昶

市では、輝かしい昭和33年の元日午前11時から市内蓬香小学校講堂で、市内在住の各界代表、名士一般約六〇〇名参列のもとに、恒例の「新年市民合同祝賀会」を開催した

祈りを捧げているのであります。一六ヶ村合併に際しては、世界の政情は併せて新都市建設総合性を帯びてまいりました

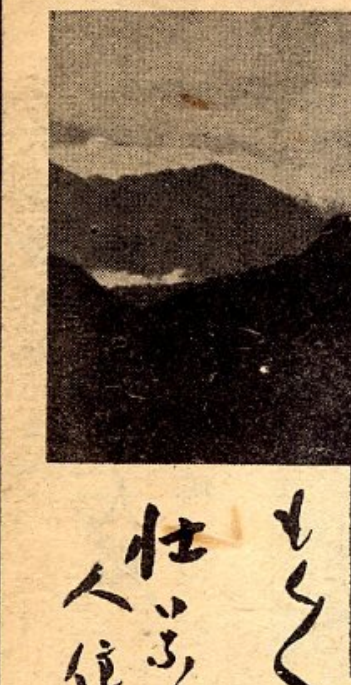


年頭挨拶 樂土建設に努力

鳥取市議会議長 西川 徳弥

市民の皆さん、明けまを如何に有意義に、そして考えるのであります。その問題については、これら種々な問題について強く要請いたします

市への画期的躍進を目指します。第四は、市民生活に直間についた精神的、物質的のあらゆる総決算を遂げ、本年は満七〇周年像にふさわしい防火



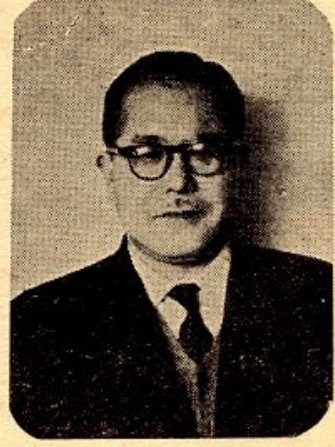
仕事は人位む邦に 毎週水・金曜日午前9時45分にはラジオ(NHK第一)のスイッチを!

年頭随想

ICBM出現と人類

鳥取市民病院長 野崎在文

二〇世紀の五七年から八年にかけては射撃八、ICBMの出現により東西陣営どころか世界連邦という超特大の市町村合併を行つても尚かつ地球は狭過ぎる時代となり



鳥取市民病院長 野崎在文

人間という不思議な生物は他の動物のたぬ自由なる意志を持つています。其上善悪の判断力をも持つています。

ついて考えねばならぬと代への宇宙観なり世界観なりを身につける様に

医学講座 (8) 上

創傷(さす)の話

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

創傷(さす)と外科とは切っても切れない密接なもので、この治療法を完全に知るとい

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

国保の日表彰 (2)

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

健康と完納の家庭

遂に目標額突破

共同募金経過報告

共同募金経過報告

共同募金経過報告

共同募金経過報告

起ち上る懇話会

更生資金カンパ

気の毒な家庭を救う

歳末たすけあい運動成果

食物の消化時間

食物の消化時間

食物の消化時間

1月31日は市民税第四期分の納期限です

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

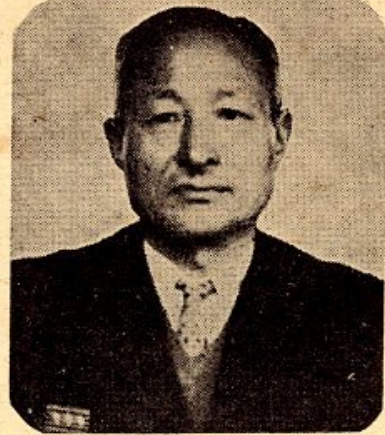
おわびと訂正

おわびと訂正

おわびと訂正

みんなで守ろう！
我等の郷土鳥取

鳥取市消防長 今村 一二



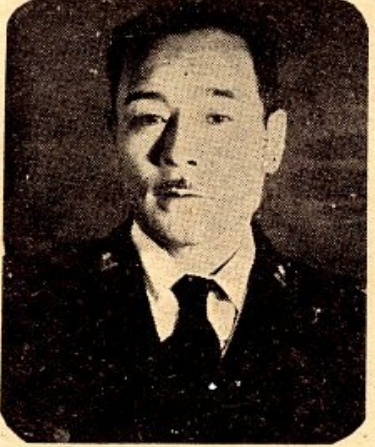
市民の皆さん、明けまして三三三に近い鳥取市でも、先にお目出度うございませぬ。鳥取市は、昭和32年にも不幸な大火災が頻発し、消防界は多事多難の年であり、東下味野のように、一夜にして十数世帯の罹り込みで、平均国民一人当たりの損害は、幸にもわが鳥取市が約四〇〇万円に達したことが、幸にもわが鳥取市の心からの消防に対する御協力によって、ますます幸いであったと申さねば、大過なく過ぎましたことなりました。



去る12月12日夜下味野部落に起った火災は、折からの突風、家屋の密集等の悪い条件により、住宅七戸二棟全焼、五戸二棟を半焼し、見舞品を贈りました。一、魔法かまど二〇点

望ましい環境の浄化

鳥取警察署長 稚山 正美



年のはじめに謹んで本市の繁栄と、皆様の御隆昌をお慶び申し上げます。私は袋川の近くで生れ、まだ水道のなかつた時代、その水を飲んで育った本市民であります。その頃の鳥取には、お堀端はもとより、東町、西町あたりのお屋敷跡の土塀や、三つの街道を中心としてたてよこに行儀

昨年の火災！

六日に一回、三〇万円づつの損

去年一年間に鳥取市で起きた火災を振り返って見ますと、回数は五三回で、昨31年と同じ回数でした。その分布を大別して市街地と、市街地外に分けて見るとき、市街地では四〇回、市街地外では一三回となり、この二地区で一番火事のかつた町内は、市街地では吉方(一、二、三、四区合計)が一〇回、市街地外では下味野

このところから 五回 火災の損害は、建物では七四〇坪の被害があつて、31年に比較し約二倍に当り、金額に

の火の粉 四回 風呂場から 三回 子供の火遊び 三回 などが主なものです。さて、このように過去

の損害を見積ると、約一、六〇〇万円と、これも一昨年の二倍強となりました。従つて火災一回当たり約三〇万円の財産が失われたこととなります。

やめよう！家出

ゆるるは転落へのコース

鳥取署の管内で発見保十年、実際に坊々夫婦の護された家出人は、昨年間に可愛い三児をもうけたが六ヶ月間に九四名も、行きずりの年下の男が、ますます増える傾向があります。幸いに保護されたあつたが、家出をするのは、市民のみなさん、家出をするときは、必ず警察へ連絡して下さい。

下味野の火事に

必死の消火作業と消防本部や近くの部落消防車の速やかな出動で被害を最小限に抑止した。市では早速その被災者の応急救助対策を講じて、先ず市長自ら現場

- 一、薄刃 一〇〇点
一、飯杓子 二〇〇点
一、アルマイト食器大 二〇〇点
一、小類 二一〇点
一、衣類 二一〇点
(市福祉事務所)

鳥取市史「鳥取市七十年」 予約申込み受付はじまる！ 予定定価 ¥ 1,000

今年10月1日は、明治22年に市制が実施されて全国に三十九の市が生れ、その中の一つとして鳥取市が誕生した七〇周年の記念日であります。そこでこれを記念して鳥取市七〇年の歴史を編纂することになり、一昨々年以来編纂員として、浦島義博、松本穂葉子、狩野喜道、浅沼喜実の諸氏を逐次お願いして基礎調査もこの程完了し、いよいよ8月頃には発行予定です。この市史は、単に事象の記録のみに止らず、経緯に完全な生命のつながりと躍動を持たせ、因果関係が深く探究されたもので、将来市政執行、市勢進展上に参考ともなり、また近代、現代の鳥取の研究資料となる一生涯にわたる鳥取市史であります。

内容目次

- 第一篇 新生の鳥取市
第一章 灰燼の中から
第二章 周辺との合併
第三章 起り上る鳥取
第二篇 七十年の歩み
第一章 久松山麓から
第二章 明治期の発展
第三章 近代化の胎動
第四章 昭和の初期
第五章 第二次世界大戦
第三篇 教育と文化
第一章 学校教育
第二章 社会教育
第三章 教育行政
第四章 郷土文化
第五章 宗 教
第四章 産業と社会労働
第五章 農林・水産
第二章 商工と金融
第三章 社会と労働
第五章 市政の足跡
第一章 市政の変遷
第二章 市財政の変遷
第三章 市長十五代記
附録 観光その他
以上本文一〇〇頁上質六十斤函入

◎有料配付予約受付

この市史は広く多数市民の方々にも読んで頂く為に、希望により有料でお分けいたします。下から次の要領で申し込んで下さい。

予約定価	一、〇〇〇円
申込期限	4月30日
申込金	要りません
申込先	市総務課企画係